

平成24年6月11日

平成24年度 全国木材資源リサイクル協会連合会

通常総会議事録

開催日時 : 平成24年5月25日(金) 13:30~14:40
場 所 : 江東区亀戸文化センター2階大研修室

総会員数 : 正会員 136社、賛助会員11社
出 席 : 正会員 36社、44名、賛助会員 5社、8名
事務局員 5名、計57名
委任状 : 60通

議事内容

司会 事務局長 弘山 知直

1 開会のことば 中四国協会会長 片岡 重治 氏

2 理事長挨拶 鈴木 隆 理事長

大震災から1年余りが経過し、社会情勢は大きな変化をしているが、被災した地域では、復興に向けての作業が大きく動き出したところである。

当連合会では、大震災の直前に品質規格を策定して、品質の安定した木材資源を供給して行こうとしてきた。

一方ではこの7月から施行される再生可能エネルギーの固定買い取り制度についても注目して、この2点をこの1年間の主な課題として活動する予定であった。

その矢先に大震災が起こったわけで、その対応のために緊急ワーキンググループを設置して、国への提言等を行ってきた。この瓦礫と呼ばれるものの中には、多くの再利用できる木材資源が含まれており、通常処理量から見ると11年分ともいわれる量が瞬時にして出てしまったということになる。

この問題への対応については、様々な形で会員の議論、努力によって実を結びつつある。

固定買い取り制度についても、多くの問題を抱えているものの、市況の安定という面で、需要家に見えるようにしていくことが課題と考えられ、これらの課題に対するこの連合会が今後果たすべき役割はますます大きくなっている。

さらに、アジアに目を向けると、韓国木材リサイクル協会からの申し出に応える形で、連携が実現しつつあり、このことについても本日の総会で議論していただこうと考えている。

本日の総会の議案は多岐にわたるが、是非貴重な意見をいただきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

司会から総会成立の報告

本日の総会の出席は36社で、欠席正会員から60通の委任状が提出されており、合わせて96社の出席を得たことになる。

これは、正会員数136社の過半数69を上回っており、総会が成立していることを報告した。

3 議長選出

本日の総会の議長について、鈴木 隆 理事長を議長とすることで了解を求めたところ、全員の拍手により承認された。

4 議事録署名人選出

議事録署名人の選出については、事務局一任との声があり、鈴木専務理事が東海協会の石田謙治氏と、中四国協会の田中一正氏を指名したところ、両氏とも了承した。

5 議事

第1号議案 平成23年度事業報告について

鈴木専務理事から資料に基づき、活動状況及び東日本大震災への対応等について報告した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

第2号議案 平成23年度収支決算及び監査結果について

資料に基づき事業会計決算報告及び事業会計財産目録について事務局から説明した。

引き続き田中一正監事から、4月5日に実施した監査結果について報告した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

第3号議案 平成24年事業計画（案）、

第4号議案 平成24年度当初予算（案）について

関連ある項目なので、一括して説明した。

資料に基づき平成24年度の事業計画、及びこれを実施するための活動予

算書及びその内訳について事務局から説明した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

第5号議案 木材チップ市況価格の見える化について

国の再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度の施行に伴い、バイオマスエネルギーの市況価格について、大きな注目を集めているが、その安定化を目的として当連合会として委員会を設置して検討することを事務局から提案した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

第6号議案 韓国木材リサイクル協会との交流について

韓国側からの求めに応じ、友好関係を維持する協定を締結し、「国際交流委員会」を設置し、定期的に交流活動を行うことを事務局から提案した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

第7号議案 名誉会長の留任について

本年2月で任期が満了となった彦坂名誉会長について、引き続き留任することについて、事務局から提案した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

第8号議案 役員の辞任と新任について

鈴木重芳専務理事の退任申し出に伴い、その後任として弘山知直事務局長を推薦すること、森康行氏の事務局長（関東協会専務理事）への就任について提案した。

また、中川顧問から顧問を退任したいとの発言があり、その後任として鈴木前専務理事を推薦したいとの申し出があった。

これらの提案について議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

鈴木専務理事退任あいさつ

任期半ばでの退任申し出を受け入れていただき、3年間無事に任務を終えられることをありがたく思う。

自分の人生設計の中で、これからも可能な限り連合会の会合にも出席して、付き合いを続けて生きたので、今後もよろしくお願ひしたい。

その他

平成24年度に出展を予定しているイベントの概要、寄付金の募集状況について資料に基づき事務局から説明した。

議長がその他の事項について質問を求めたところ、繊維板工業会瀧川常務理事から次のような発言があった。

11月に静岡で開催される国際シンポジウムは、前半部分が繊維板工業会の共催で実施する有意義な会であるので、当連合会の会員の参加を呼び掛けたい。

また最後に、参考資料に基づき、この1年間を振り返るため、平成23年度の主な動きについて報告した。

さらに、議長からその他の事項について意見等を求めたが特になく、議事はすべて終了した。

6 閉会の辞 東海協会会長 山口 昭彦 氏

閉会 14:40

以上をもって全ての議案の審議は終了し、この議事録通り相違ないとして、議長及び議事録署名人において記名捺印する。

平成24年6月11日

議長 鈴木 隆 (印)

議事録署名人 田中 一正 (印)

同 石田 謙治 (印)

議事録作成人 弘山 知直 (印)